

# 大卒「就職率」は76.1%で7年連続アップ！

## “不安定な雇用”は大卒者の12.6%、7.2万人！

旺文社 教育情報センター 29年9月15日

29年3月に大学を卒業した56万7千人のうち、就職者総数は43万2千人で、就職率(ここでは、「卒業者に占める就職者数の割合」)は76.1%であることが、文部科学省の『平成29年度学校基本調査』でわかった。景気好調の中、就職率は上昇し、「安定的な雇用に就いていない」大卒者(=「進学も就職もしていない者」+「一時的な仕事に就いた者」+「就職者のうち正規の職員等でない者」)も前年より7千人減少した。ここでは大学・短大の就職率の推移等について紹介する。

### ■大卒の就職率は1.4ポイントアップ

表1に大学(学部)の状況別卒業生数をまとめた。29年3月の大学卒業生数は56万7千人。このうち、就職者総数(「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた就職者数)は43万2千人で、前年より1万4千人(3.3%)増加。就職率は76.1%で、前年より1.4ポイントアップし、7年連続の上昇となった。なお、就職者のうち、「正規の職員でない者」は1万8千人で、就職者総数に占める割合は4.2%となっている。

一方、29年3月の短大(本科)卒業生数は、5万7千人(表2参照)。このうち、就職者数(「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた就職者数)は4万6千人で、前年より1千人(1.3%)増加。就職率は80.8%で、前年より1.6ポイントアップし、こちらも7年連続の上昇となった。

■大学(学部)の状況別卒業生数

(表①)

年度	卒業生数 (人)	就職者(人)		「大学院等への進学者」のうち 就職している者(人)		(再掲) 就職者総数(人) F=B+C+D+E	就職率 [卒業者に占める 就職者の割合] F/A
		正規の職員等	正規の職員等でない者	正規の職員等	正規の職員等でない者		
	A	B	C	D	E		
平成24	558,692	335,048	21,963	47	30	357,088	63.9%
25	558,853	353,125	22,734	50	48	375,957	67.3%
26	565,573	372,509	22,259	60	17	394,845	69.8%
27	564,035	388,578	21,132	33	16	409,759	72.6%
28	559,678	398,979	19,116	46	22	418,163	74.7%
29	567,459	413,688	18,328	58	14	432,088	76.1%

(注)①「大学院等への進学者」=大学院研究科、大学学部、短大本科、大学・短大の専攻科・別科へ入学した者。また、進学しかつ就職した者を含む。  
②就職者のうち「正規の職員でない者」=雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

■短大(本科)の状況別卒業生数

(表②)

年度	卒業生数 (人)	就職者(人)		「進学者」のうち就職している者		(再掲) 就職者総数(人) F=B+C+D+E	就職率 [卒業者に占める 就職者の割合] F/A
		正規の職員等	正規の職員等でない者	正規の職員等	正規の職員等でない者		
	A	B	C	D	E		
平成24	65,682	40,216	6,290	3	0	46,509	70.8%
25	62,375	39,724	6,126	3	0	45,853	73.5%
26	58,797	38,773	5,463	0	1	44,237	75.2%
27	59,435	41,161	5,243	0	8	46,412	78.1%
28	57,108	40,812	4,409	2	9	45,232	79.2%
29	56,722	42,008	3,803	0	7	45,818	80.8%

(注)①就職者のうち「正規の職員でない者」=雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

なお、文部科学省・厚生労働省は毎年4回（10・12・2・4月）発表する「就職状況調査」結果によるもののみを「就職率」としている。この文部科学省・厚生労働省の調査では62大学・20短大の抽出調査によるもので、算出方法は「就職希望者に対する調査時点での就職者の割合」で、『学校基本調査速報』の「卒業者に占める就職者の割合」の数値とは異なっているので注意を要する。

## ■「安定的な雇用に就いていない」大学生は7千人減少

学部卒業後、「進学も就職もしていない者」は4万4千人、「一時的な仕事に就いた者」は9千人、「就職者のうち正規の職員でない者」は1万8千人で、これらの合計（＝「安定的な雇用に就いていない者」）、つまり“不安定な雇用者”は、7万2千人。大学卒業者の12.6%（前年度、14.0%）を占め、減少傾向となっている。

また、「就職も進学もしていない者」4万4千人のうち、「進学準備中の者」は2千人、「就職準備中の者」は2万3千人だった。

一方、短大（本科）卒業後に「安定的な雇用に就いていない者」は9千人で、短大卒業者に占める割合は15.3%（同、17.1%）となっている。（表4参照）

■大学(学部)卒者のうち「安定的な雇用に就いていない者」

(表③)

年度	卒業者数 (人)	一時的な仕事 に就いた者 (人)	就職も進学も していない者 (人)	就職者のうち 正規の職員等でない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者の割合
	A	B	C	D	E=B+C+D	E/A
平成24	558,692	19,569	86,566	21,993	128,128	22.9%
25	558,853	16,736	75,929	22,782	115,447	20.7%
26	565,573	14,519	68,484	22,276	105,279	18.6%
27	564,035	11,730	58,102	21,148	90,980	16.1%
28	559,678	10,184	48,866	19,138	78,188	14.0%
29	567,459	9,176	44,152	18,342	71,670	12.6%

(注)①「就職も進学もしていない者」=家事の手伝いなど就職でも、「大学院への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明確な者。

②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設項目)=雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

③「安定的な雇用に就いていない者」=「就職者」のうち「正規の職員等でない者」+「一時的な仕事に就いた者」+「進学も就職もしていない者」。

■短大(本科)卒者のうち「安定的な雇用に就いていない者」

(表④)

年度	卒業者数 (人)	一時的な仕事 に就いた者 (人)	就職も進学も していない者 (人)	就職者のうち 正規の職員等でない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者の割合
	A	B	C	D	E=B+C+D	E/A
平成24	65,682	2,673	7,702	6,290	16,665	25.4%
25	62,375	2,115	6,215	6,126	14,456	23.2%
26	58,797	1,778	5,409	5,464	12,651	21.5%
27	59,435	1,414	4,899	5,251	11,564	19.5%
28	57,108	1,360	4,009	4,418	9,787	17.1%
29	56,722	1,173	3,686	3,810	8,669	15.3%

(注)①「就職も進学もしていない者」=家事の手伝いなど就職でも、「大学等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明確な者。

②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設項目)=雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

③「安定的な雇用に就いていない者」=「就職者」のうち「正規の職員等でない者」+「一時的な仕事に就いた者」+「進学も就職もしていない者」。